

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援及び放課後等デイサービス スマイル松戸岩瀬		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日		2025年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンの運動療育によりスモールステップで体の使い方を身につけ、体を動かすことの楽しさを体験できること。	興味のある運動や得意な動きを個別に合わせて、体を動かすことが楽しいと感じてもらえるようにしている。	月1回程度の事例研究の機会を作り、より充実した支援内容の提供を図る。また、運動種目における実践的な研修も行っていく。
2	運動を通して、コミュニケーション能力の向上と自己感情のコントロールや運動種目のルールを学べること。	随時、児童や保護者から現在おこなっている学校体育種目の確認をして、体育での困りごとに向けての練習を取り入れている。	生涯にわたって運動が楽しめるように、学校卒業後も取り組めるスポーツ種目を見つけられるよう支援していく。
3	マンツーマンの個別支援だけでなく、集団での運動イベントを開催していること。また、イベントに保護者やきょうだいも参加できること。	会場を借りて広い空間でスポーツを楽しめたり他児との交流ができたります機会を提供できるようにしている。また、保護者やきょうだいも参加できるようにし、交流の場としても行っている。	定期的にイベントを開催できるよう、計画を立てて実施していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が薄いこと。	マンツーマンの運動療育ということもあり、事業所内に活動がとどまっている。	地域のイベントに参加する機会を増やす。そこへ利用児童も招き地域との交流機会を図る。
2			
3			